

ロシア軍がウクライナ南東部のザポロジエ原子力発電所を攻撃し、占領してきていると報告が聞かれました。

ロシア軍 欧州最大級原発攻撃

停止しても安全でない

原子力コンサルタント
佐藤 暁氏



原発は危険な施設です。安全が確保できなければ、止めたとしても安全でない。このままでは、日本の原発も危険な状態になる。近隣の川の上流に取水している原発は、取水が止まると、冷却機能が失われ、炉心が溶ける危険がある。また、燃料が燃焼し、放射性物質が漏れ出す危険もある。原子力発電は、安全を確保することが最優先である。

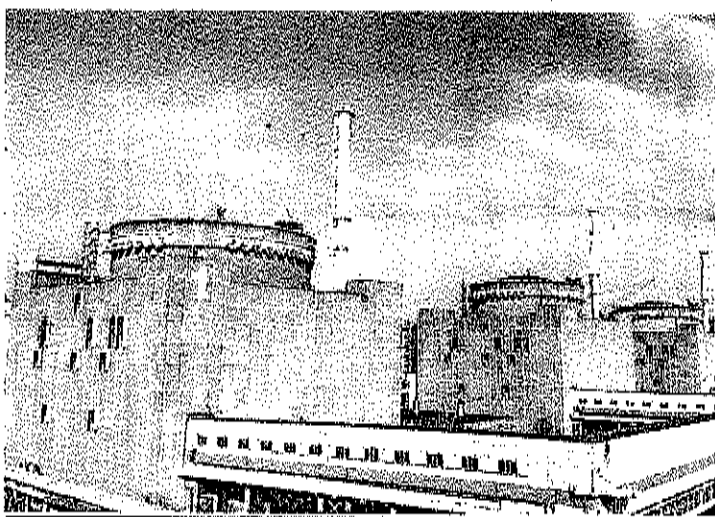
核廃絶を強く訴えたい

元原子力発電技術者
渡辺 敦雄氏



核廃絶を強く訴えたい。原子力発電は、安全を確保することが最優先である。しかし、現実には、安全を確保することができない。原子力発電は、環境汚染を引き起こす危険がある。また、核廃絶を強く訴えたい。原子力発電は、安全を確保することが最優先である。しかし、現実には、安全を確保することができない。原子力発電は、環境汚染を引き起こす危険がある。

世界規模の危険に



ウクライナ南東部ザポロジエの原子力発電所（同原発のフェイスブックより）



ウクライナ国内4原発15基

ウクライナには、国内4原発に15基が存在しています。このほか、100000年の古い時代に4基の原発が稼働していたチェルノブイリ原発があります。ロシア軍は、ウクライナ国内の原発を攻撃し、安全を脅かしています。これは、世界規模の危険に繋がります。原子力発電は、安全を確保することが最優先である。しかし、現実には、安全を確保することができない。原子力発電は、環境汚染を引き起こす危険がある。

「原発攻撃は環境犯罪」

「FOEジャパン」が声明

「原発攻撃は環境犯罪」。環境保護団体「FOEジャパン」は4日、ウクライナ南東部のザポロジエ原発がロシア軍に占領されたことを受け、原発攻撃を環境犯罪と認定し、ロシア軍の攻撃を強く非難しました。声明は「戦争は最大の環境被害であり、核攻撃は」と指摘したうえで、「原発への攻撃は、膨大な量の放射性物質を環境中にまき散らすことになり、かつ、広範囲にわたる環境汚染と健康被害をもたらす」と批判。チェルノブイリ原発事故や福島第一原発事故で目の当たりにした惨劇を決して繰り返してはならないと訴えています。